

「防災塾・だるま」 1月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2020年1月24日(金) 14:45時~16:15時 司会: 田中栄治
- ◆場所 : 神奈川大学30号館401室
- ◆出席者 : 池田、磯野、稲垣、江上(健、富)、片山、釜石、紅林、佐々木、高松(清)、玉井、中島、中村(誠)、早川、山田(富)、山田(美)、鷺山 計18名(敬称略)
- 配布資料 1. 1月定例会議事次第 2. 1月定例会テーマ:「地震火災から命を守るために」
3. 『かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク』検討会(1/20)議事予定
4. 「神奈川県地域防災計画(風水害等災害対策計画)修正素案」パブリックコメント(案)
5. 1月談義の会次第・情報(次第裏面)
6. 神奈川県:小田原ブロックを津波警戒区域に指定
7. 被災者支援チェックリスト(日弁連作成)
8. 「だるまチラシ」、「J-DAGチラシ」
- 配布チラシ等 ①第175回談義の会のチラシ(講師:佐藤孝治神大教授)
②2/24 東日本大震災から9年~災害復興を考えるフォーラム(神大主催・城南信用金庫共催)
③2/25 戸塚区防災人権啓発講演会(講師:国崎信江氏、戸塚区男女共同参画センター、要申込)

【1月定例会意見交換テーマ:地震火災から命を守るために】(配布資料2)

(主な発言者)池田、稲垣、片山、中島、早川、山田(美)

- ・昨年12月放送の「NHKスペシャル」で感じたのは、想定される大火の消火は可能なのか? 避難するとしても逃げ切れるのか? 避難の際に、どこが燃えているのか判るのか?
- ・初期消火出来れば被害は小さくなるが、消火出来なければ燃え尽きるのを待つしかない?
- ・多くの地域で初期消火が出来れば、被害はそうでない場合の十分の一になると言われる
- ・地元の区人口は16万人だが消防車は6台しかなく、平時でも10台は出動している。地元が初期消火できても周りの地域で消火出来なければ延焼する。10万人が焼死の可能性すらあるが、住民は意識していない。とにかく早く非難することが必要ではないか
- ・何処へ逃げるのが良いのか? 広域避難所は本当に安全なのか? 何処で火の手が上がっているのか、どうすれば判るのか?
- ・広域避難所でも風下になれば、安全とは言えないのではないか
- ・拠点避難所となっている学校が、広域避難所として指定されている場合があるが問題ないか
- ・大火の際、逃げた人も火を見て逃げている。逃げない人はどうしたら逃げるのか?
- ・今起きているオーストラリアの様な火災は日本では起こらないのか? 飛び火が拡大させる
- ・東日本大震災の時、岩手県山田町は津波の後火災になっている
- ・地域にある工場等に何があるか、可燃性・危険性の情報は、住民として確認する必要がある
- ・「大都市における地震火災対策の課題」について研究している加藤孝明教授に、本年後半に話を頂くことを検討してみてもどうか

【I 運営関係】

1. 会員、会計関係・・・中島、早川
 - ・会員関係:退会:1名(O72)、入会:3名、会員数(12月末現在):126名
 - ・会計関係:懇親会(参加者27名)収入(会費及び寄付)144,500円、支出101,500円
余剰金43,000円はだるまへ寄付
2. HP・情報提供など・・・中島
 - ①HPの更新(12月まで)
 - ・定例会11月/12月議事録、第173回談義の会レポート、第175回談義の会チラシ
 - ・12月役員会議事録、防災コーディネーター養成講座・5時限目~6時限目議事録
 - ・だるま会員「組織運営に関するアンケート調査」、神奈川県地域防災計画・修正素案パブコム
 - ・災害復興を考えるフォーラムのチラシ
 - ②毎月の情報:1月(配布資料5)
3. 運営:定例会・談義の会など(詳細は【IV 今後の予定】)
 - ①1月:第174回談義の会 講師:飯塚智規氏(城西大学現代政策学部助教)
テーマ「災害対策本部はなぜ機能しないのか」

②2月：第175回談義の会 講師：佐藤孝治氏（神奈川大学経済学部教授、だるま顧問）
テーマ「東日本大震災の教訓と地域の持続性—分野横断的な知見とフィールド調査の必要性」

注）定例会・談義の会の「開催場所・時間」についてのお願い！

大学入試時期、及びイベント開催のため、開催予定場所・時間に変更になることがあります。最新情報は、だるまHPの「トップページ最上段のカレンダー」を参照ください。

4. 「防災塾・だるまの今後」に関する検討について・・・池田、中島
 - ・アンケートの回収状況は、2回メール配信して123人中33人から回答あり
 - ・回答を見ると会員と役員で認識が違う部分もあり、さらに分析し纏める
 5. 「神奈川県地域防災計画修正素案」パブリックコメント（配布資料4）・・・中島
 - ・1月の役員会で意見交換した内容を纏めた。県にはコメントに対する回答を依頼した
 6. 第14回養成講座収支報告・・・早川
 - ・大学に受講料確認し最終収支としては黒字。だるまとして5,260円を経費支出した
- <「だるまチラシ」「J-DAGチラシ」について>
講演会等で配布するため内容について見直し、追加印刷することとしました

【II 主催・共催事業など】

1. 養成講座について・・・高松
 - ・9月24日～10月24日（木）の全6回で実施。本日、大学へ講座ガイドブック原稿提出
講座運営に協力していただける委員を募集
2. J-DAG、3BWGの活動・・・片山、稲垣
 - ・鶴ヶ島市主催でJ-DAG（2/19）実施。片山、高松、早川、鷺山4名が参加する
3. 『かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク』集会報告（配布資料3）・・・山田（美）
 - ・12/20 関東学院大学で開催し参加者は94名。地域から参加者を増やすことが課題の一つ
4. 『災害復興を考えるフォーラム』の開催について（配布チラシ②）
開催日時：2月24日（月・祝）14:00～17:10：神奈川大学16号館「セレストホール」
基調講演：佐藤孝治経済学部教授「災害後の地域の持続可能性と複合的な自然災害の脅威」
5. 神戸から学ぶ（1.17への参加）・・・早川
訪問先：岡山県真備町、淡路島、神戸 訪問日程：1月15日（水）～17日（金）
結果については、3月談義の会で発表予定

【III 協力・参加・情報・その他】・・・田中（栄）、池田

- ・12/24 神奈川県は、「小田原市・真鶴町・湯河原町」を県内で初めて津波警戒区域に指定
- ・「被災者支援情報チェックリスト（コピー配布、自由）」、「被災者生活再建カード」

【IV 今後の予定】 <最新の情報は、HP最上段のカレンダーを確認してください>

1. 2020年2月談義の会 2月14日（金） 30号館B101 月担当：池田、山田（美）
 - ・第175回談義の会 15:30～17:30
テーマ：「東日本大震災の教訓と地域の持続性」
—分野横断的な知見とフィールド調査の必要性
講師：佐藤 孝治氏（神奈川大学経済学部教授、防災塾・だるま顧問）
 - ・役員会 2月14日（金） 13:00～15:00 851C
2. 2020年2月例会 2月28日（金） 30号館401室 月担当：増田
 - ・3BWGプロジェクト 14:00～15:00
 - ・定例会テーマ：「防災塾・だるまの今後について」 15:15～16:45
3. 2020年3月例会 3月27日（金） 1号館301室 月担当：稲垣
 - ・3BWGプロジェクト 13:00～14:00
 - ・定例会テーマ：「未定」 14:15～15:45
 - ・第176回談義の会 16:00～17:30
テーマ：「阪神淡路大震災から25年」参加者報告
 - ・役員会 3月10日（火） 10:00～12:00 851C

以上